

## レトロスペクティブ —チームで思いを共有してモチ ベーションを向上する— (2)

オブジェクトモデリングスペシャリスト

土屋 正人

Masato Tsuchiya

[m-tsuchi@sra.co.jp](mailto:m-tsuchi@sra.co.jp)

前回は、レトロスペクティブ(ふりかえり)の概要を紹介しました。今回から、弊社・SRAで行っているレトロスペクティブのプログラムを紹介していきます。

### ◆レトロスペクティブプログラム

SRAでは、多くのプロジェクトでレトロスペクティブを実施しています。プロジェクトの反省会は以前から行われていましたが、アジャイルプラクティスのレトロスペクティブをやり始めたのは2008年になります。実施しているプロジェクトが採用している開発プロセスは、アジャイル以外にも、RUP(ラショナル統一プロセス)のような反復開発やウォーターフォールがあり、特にアジャイルを採用しているプロジェクトでなければ出来ないという制約はありません。

チーム外の方がファシリテータを担当する場合、事前にプロジェクトの状況や規模、スケジュール、チーム体制、メンバの個性、ふりかえる期間などをヒアリングして、チームにあったレトロスペクティブのプログラムを検討します。レトロスペクティブを行う場所や設備、制約(壁に貼ることが可能かなど)の確認も必要です。何度かの試行錯誤の結果、オープニング、認識の共有、改善策の決定、クロージングの流れを2時間の中に配分して行うプログラムが、現時点の標準になっています(図1)。

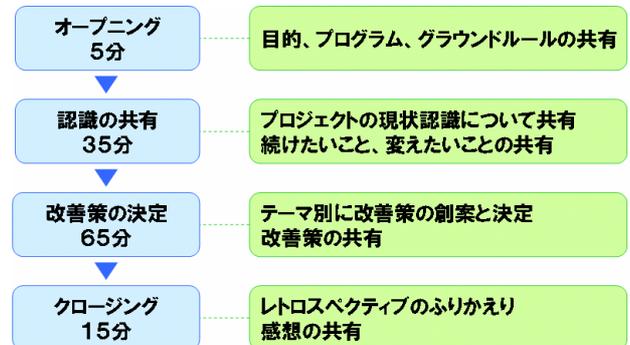


図1 レトロスペクティブプログラム

プロジェクトに適用するときは、前述したように、プロジェクトの状況に合わせてカスタマイズします。なお、プログラムやアクティビティの説明には、プロジェクトを使っています。

### ◆オープニング

オープニングでは、目的、プログラム、グラウンドルールを提示して、全員の合意を得ます。目的とグラウンドルールは、それぞれ図2、図3のようなシンプルなものにしています。これらに賛同できるかどうかを尋ね、賛同の挙手をしてもらい、全員の賛同を得てから先に進みます。

**プロジェクトの過去の経験を活かして  
今後のプロジェクトにおける  
業務効率と QoEL を向上することで  
顧客と開発者を含む関係者全員が  
満足する状況を創りだす**

QoEL: Quality of Engineering Life, エンジニアとして過ごす人生の質

図2 目的

時間を守る

とりあえずやってみる

えっ！？と思ったら質問する

図 3 グラウンドルール

「えっ！？と思ったら質問する」を補足します。他人の意見に対して、理解が曖昧な部分があっても一時には誤解したまま——議論を進めてしまうことがあります。このような状況を避けるため、少しでも曖昧に感じる事があれば、遠慮や心配しないで質問しよう、というルールです。

### ◆ 認識の共有

認識の共有では、アイスブレイクを兼ねて、3分で「プロジェクトレーダーチャート」というアクティビティを実施しています。

やりかたは次の通りです。

- 全員に大きな付箋紙を1枚配る
- 付箋紙上に4軸のレーダーチャートを描いてもらう(図4参照)
- 4軸それぞれの自分の思う位置に点を描いてもらう(図4参照)
- レーダーチャートを描いた模造紙を壁に貼る
- 全員にドットシール(小さな丸いシール)を1枚配る
- 全員が模造紙のレーダーチャートにドットシールを貼る(貼る位置は、自分の付箋紙上にプロットした位置に合わせる)

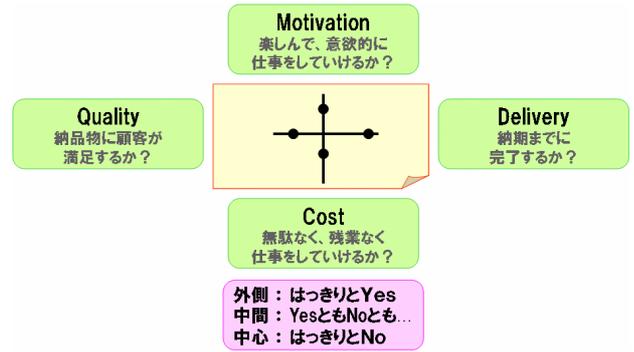


図 4 プロジェクトレーダーチャート

全員がドットシールを貼り終わると、例えば、図5のような状態になります。

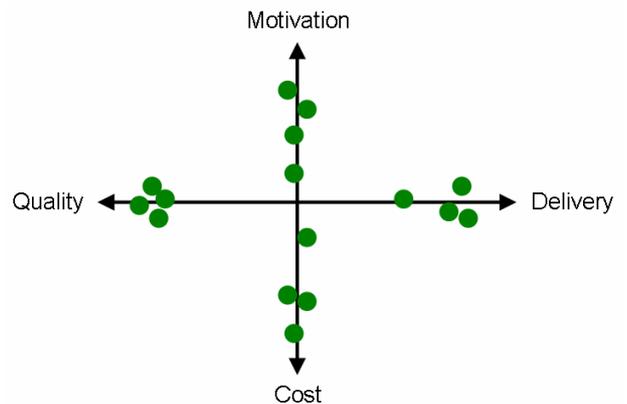


図 5 プロジェクトレーダーチャート (実施例)

これにより、個人の思いと認識の違いを「見える化」することができます。この例では、品質と納期については概ね思いが一致していますが、コストやモチベーションにはばらつきがあります。ここから、何が良くて/悪くて、こうなっているのかを考えるきっかけが生まれます。それぞれに思い当たる理由があれば、「続けたいこと(Keep)」、「変えたいこと(Change)」として全員で共有していきます。KPTと同じですが、これを Keep&Changeと呼んでいます。

次回は Keep&Change を紹介します。

夢を。



GSLetterNeo Vol. 65

2013年12月20日発行

発行者 ●株式会社 SRA 産業第1事業部

編集者 ●土屋正人、柳田雅子

バックナンバーを公開しています ●<http://www.sra.co.jp/gsletter>

ご感想・お問い合わせはこちらへお願いします ●[gsneo@sra.co.jp](mailto:gsneo@sra.co.jp)

株式会社SRA

〒171-8513 東京都豊島区南池袋2-32-8

夢を。Yawaraka Innovation  
やわらかいのバージョン